

教育

こどもの発達の支援とインクルーシブ教育の実現のための取組

教育委員会

学校教育課
あかし教育研修センター

福祉局

こども育成室

現状

- 特別な教育的ニーズへの対応
特別支援教育指導員等の配置や、個別の「教育支援計画」「指導計画」の作成など、特別支援教育を学校全体で推進
- 障害を理解するための教育
総合的な学習の時間に、手話体験学習、車イス体験やアイマスク体験など、福祉をテーマにした授業を実施
- 教職員の指導力向上
「明石市特別支援教育ハンドブック」の活用や、障害理解をテーマにした市独自の研修を実施

課題

- 障害のある子どもへ合理的配慮を提供するため、ソフト・ハード両面での環境整備が必要である。
- 教職員の意識や専門性のさらなる向上が求められている。
- 障害理解についての学びは、より小さいころから始める必要がある。

必要な取組例

- 看護師の配置や教育環境整備のための人員増
- 「やさしいまちづくり」につながる教職員研修の実施
- 特別支援教育コーディネーターの専任化